

国内四半期自転車生産・輸出入状況 (2020年7～9月)

はじめに

本稿は、我が国の自転車生産・輸出入の変化の模様を的確に把握するため、四半期毎の動きに焦点を当て、特に対前年同期との比較を主体として調査を行ったものである。但し、前年同期との比較を主体とするとはいうものの、自転車販売には季節性がある事も考慮する必要がある。

2020年7～9月期の我が国の自転車生産状況は、前四半期に続き総生産台数・総生産平均単価・総生産金額ともに前年同期を上回った。また2020年7～9月期の我が国の自転車輸入状況について、「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を除く全ての車種の輸入は、総輸入台数が前年同期比増加、総輸入平均単価・総輸入金額は前年同期比下落・減少という状況が示されている。

1. 我が国の自転車生産

1-1 総合的生産状況

経済産業省生産動態統計調査によると、2020年7～9月期の我が国の完成自転車総生産台数は193,732台であり、前年同期と比較すると8.0%増加した。尚、2020年7～9月期の193,732台という数値は、対象8四半期の中では2番目に少ない数値である。これらの模様を、過去4四半期にまでさかのぼり表1-1-1及び表1-1-2に示す。

表1-1-1 我が国自転車総生産台数の動向

四半期	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月	2020年7～9月
総生産台数(台)	253,272	229,180	205,117	193,732
前年同四半期	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月
総生産台数(台)	226,169	256,111	195,377	179,318

出典：経済産業省生産動態統計調査（2018年数値は確定後遡及修正反映数値 2019年数値は確定値）

加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会 以下、生産統計数値は全て同様。

表1-1-2 我が国自転車総生産台数の前年同期比

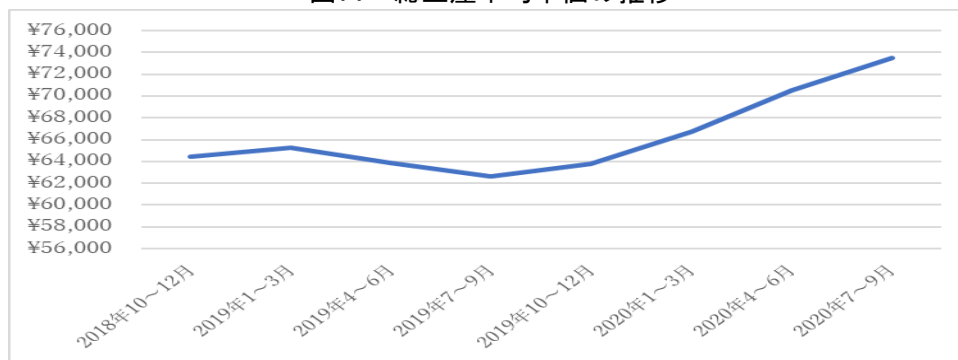
四半期	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月	2020年7～9月
実数比(台)	27,103	-26,931	9,740	14,414
前年同期比(%)	12.0	-10.5	5.0	8.0

四半期毎総生産台数は対前年同期比で見ると前々四半期は減少していたが、それ以外は増加しており、今四半期の増加幅は前述のとおり8.0%となっている。当協会が実施している自転車国内販売動向調査によると、2019年10月月報及び2019年11月月報には小売店における消費税増税後の販売減少の様子が示され、更に2020年2月月報には新型コロナウイルスの影響で来店客数が減り春需が感じられないという小売店主の声が紹介されていた。また4月の同月報を見ると緊急事態宣言発令による外出自粛のため販売がふるわなかったほか、学校休業で通学車が売れなかったといった指摘があったが、5月月報には学校再開・特

別定額給付金・公共交通機関利用忌避などから自転車販売が好調になった模様が記されている。6月月報を見ると、引き続き特別定額給付金の効果及びキャッシュレスポイント還元最終月という事でスポーツ車や電動アシスト車の販売が好調で自転車通勤も増加した模様が、そして7月月報にはこれらの動きがやや一段落した様子が、更に8月月報を見ると新型コロナウイルスの影響でサイクリングイベントの中止が相次ぎ販売に影響が出た模様などが示されている。これらの様々な要因が国内の自転車市場に影響しているものと思われる。

続いて総生産平均単価を見る。対象としている2018年10～12月期から2020年7～9月期までの8四半期の総生産平均単価の推移を図Aに示す。

図A 総生産平均単価の推移



総生産平均単価は2019年7～9月期を底として、それ以降上昇している事がわかる。直近の上昇は勢いを伴っており、今四半期は対象8四半期の中では最高となっている。

次に総生産平均単価の動向の模様を過去4四半期にまでさかのぼり表1-1-3及び表1-1-4に示す。2020年7～9月期の完成自転車生産平均単価は73,520円となっており、前年同期の62,619円から17.4%も上昇していることが示されている。

表1-1-3 我が国自転車総生産平均単価の動向

四半期	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月	2020年7～9月
平均単価(円)	63,769	66,765	70,541	73,520
前年同四半期	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月
平均単価(円)	64,419	65,266	63,866	62,619

表1-1-4 我が国自転車総生産平均単価の前年同期比

四半期	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月	2020年7～9月
実数比(円)	-649	1,499	6,675	10,901
前年同期比%	-1.0	2.3	10.5	17.4

尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。以下同様。

更に総生産金額について見てみると、2020年7～9月の完成自転車総生産金額は142億4,326万3千円で、前年同期と比較すると26.8%と大きく増加した。これらの模様をやはり過去4四半期にまでさかのぼり表1-1-5及び表1-1-6に示す。

表1-1-5 我が国自転車総生産金額の動向

四半期	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月	2020年7～9月
総生産金額(千円)	16,151,026	15,301,143	14,469,152	14,243,263
前年同四半期	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月
総生産金額(千円)	14,569,578	16,715,347	12,478,014	11,228,708

表 1-1-6 我が国自転車総生産金額の前年同期比

四半期	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月	2020年7～9月
実数比(千円)	1,581,448	-1,414,204	1,991,138	3,014,555
前年同期比%	10.9	-8.5	16.0	26.8

1-2 車種別生産状況

以下に車種別の生産状況を見ていくが、経済産業省生産動態統計調査における自転車の車種区分は、「軽快車」「電動アシスト車」「その他」の三つである。

1-2-1 「軽快車」の生産状況

まず、「軽快車」の生産状況を以下に示す。2020年7～9月期には生産台数が前年同期に比べ23.3%と大きく減少したことがわかる。今四半期の「軽快車」の生産台数は対象8四半期の中で最低で、かつ2019年1～3月期の4割弱の水準である。また、この車種の生産は秋から冬にかけて盛んで、春から夏にかけて低調であることもわかる。

表 1-2-1-1 「軽快車」の生産台数の動向

四半期	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月	2020年7～9月
生産台数(台)	74,306	76,380	32,119	29,418
前年同四半期	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月
生産台数(台)	76,115	78,625	35,450	38,362

表 1-2-1-2 「軽快車」の生産台数の前年同期比

四半期	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月	2020年7～9月
実数比(台)	-1,809	-2,245	-3,331	-8,944
前年同期比%	-2.4	-2.9	-9.4	-23.3

続いて「軽快車」の生産平均単価を見る。対象としている2018年10～12月期から2020年7～9月期までの8四半期の生産平均単価の推移を図Bに示す。季節性が大変強く表れており、「軽快車」の生産は、秋から冬にかけて比較的高価なものを生産し、春から夏にかけては比較的安価なものを生産するという特徴がよくわかる。

図B 「軽快車」の生産平均単価の推移



次に「軽快車」の生産平均単価の動向の様態を過去4四半期にまでさかのぼり表1-2-1-3及び表1-2-1-4に示す。2020年7～9月期の「軽快車」の生産平均単価は16,111円となっており、前年同期の20,195円から20.2%も下落した事がわかる。前年同期と比較した生産平均単価は前四半期まで継続して上昇していたが、今四半期は下落に転じて

いる。また後述する「軽快車」の輸入平均 CIF 単価と比べると、2020 年 7～9 月期の生産平均単価は 1.8 倍強となっている。この「軽快車」の生産平均単価と輸入平均 CIF 単価の差異は、2020 年 4～6 月期は 2.1 倍弱、2020 年 1～3 月期は 3.2 倍弱、2019 年 10～12 月期が 3.3 倍弱、2019 年 7～9 月期が 2.4 倍弱であり、秋から冬のほうがその差が大きくなっている。生産平均単価の季節変動は輸入平均単価の季節変動よりも大きいとも言える。

表 1-2-1-3 「軽快車」の生産平均単価の動向

四半期	2019 年 10～12 月	2020 年 1～3 月	2020 年 4～6 月	2020 年 7～9 月
平均単価(円)	33,138	32,465	17,425	16,111
前年同四半期	2018 年 10～12 月	2019 年 1～3 月	2019 年 4～6 月	2019 年 7～9 月
平均単価(円)	31,406	31,656	14,755	20,195

表 1-2-1-4 「軽快車」の生産平均単価の前年同期比

四半期	2019 年 10～12 月	2020 年 1～3 月	2020 年 4～6 月	2020 年 7～9 月
実数比(円)	1,732	809	2,670	-4,083
前年同期比%	5.5	2.6	18.1	-20.2

更に生産金額について見てみると、2020 年 7～9 月期の「軽快車」の生産金額は 4 億 7,396 万 2 千円で前年同期と比較すると 38.8%も下落した事が示されている。前々四半期も下落を示していたがこの時は僅かであり、今四半期の下落幅の大きさは際立っている。尚、この 4 億 7,396 万 2 千円という数値は 2019 年 1～3 月期の 2 割弱の水準である。

表 1-2-1-5 「軽快車」の生産金額の動向

四半期	2019 年 10～12 月	2020 年 1～3 月	2020 年 4～6 月	2020 年 7～9 月
生産金額(千円)	2,462,332	2,479,644	559,661	473,962
前年同四半期	2018 年 10～12 月	2019 年 1～3 月	2019 年 4～6 月	2019 年 7～9 月
生産金額(千円)	2,390,458	2,488,955	523,065	774,710

表 1-2-1-6 「軽快車」の生産金額の前年同期比

四半期	2019 年 10～12 月	2020 年 1～3 月	2020 年 4～6 月	2020 年 7～9 月
実数比(千円)	71,874	-9,311	36,596	-300,748
前年同期比%	3.0	-0.4	7.0	-38.8

1-2-2 「電動アシスト車」の生産状況

「電動アシスト車」の生産状況を以下に示す。まず生産台数は、2020 年 7～9 月期には対前年同期比 20.3%と大きく増加したことがわかる。前年同期と比較した生産台数は前々四半期には 13.6%の減少を示していたが、それ以外は増加を示している。2020 年 7～9 月期の生産台数は対象 8 四半期の中では標準的と言ってよい水準である。

表 1-2-2-1 「電動アシスト車」の生産台数の動向

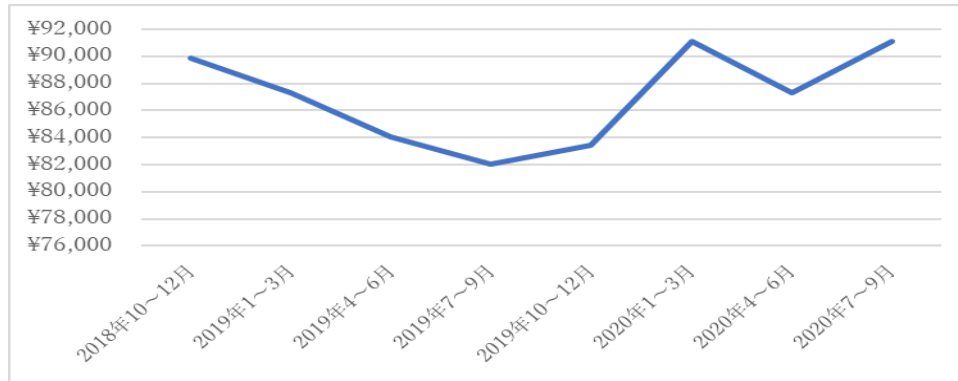
四半期	2019 年 10～12 月	2020 年 1～3 月	2020 年 4～6 月	2020 年 7～9 月
生産台数(台)	157,552	136,752	154,896	147,213
前年同四半期	2018 年 10～12 月	2019 年 1～3 月	2019 年 4～6 月	2019 年 7～9 月
生産台数(台)	131,063	158,319	136,258	122,408

表 1-2-2-2 「電動アシスト車」の生産台数の前年同期比

四半期	2019 年 10～12 月	2020 年 1～3 月	2020 年 4～6 月	2020 年 7～9 月
実数比(台)	26,489	-21,567	18,638	24,805
前年同期比%	20.2	-13.6	13.7	20.3

続いて「電動アシスト車」の生産平均単価を見る。対象としている2018年10～12月期から2020年7～9月期までの8四半期の生産平均単価の推移を図Cに示す。当初下落が続いていたものが2019年7～9月期に底を打ち、その後変動を伴いながらも上昇傾向にあることが示されている。

図C 「電動アシスト車」の生産平均単価の推移



次に「電動アシスト車」の生産平均単価の動向の様相を過去4四半期にまでさかのぼり表1-2-2-3及び表1-2-2-4に示す。2020年7～9月期の「電動アシスト車」の生産平均単価は91,072円となっており、前年同期の82,032円から11.0%上昇した事がわかる。対前年同期と比較した生産平均単価は、ここ3四半期上昇が続いており、今四半期の上昇幅はそれまでより大きくなっている。

表1-2-2-3 「電動アシスト車」の生産平均単価の動向

四半期	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月	2020年7～9月
平均単価(円)	83,414	91,090	87,332	91,072
前年同四半期	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月
平均単価(円)	89,872	87,324	84,083	82,032

表1-2-2-4 「電動アシスト車」の生産平均単価の前年同期比

四半期	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月	2020年7～9月
実数比(円)	-6,458	3,767	3,249	9,040
前年同期比%	-7.2	4.3	3.9	11.0

更に生産金額について見てみると、2020年7～9月の「電動アシスト車」の生産金額は134億696万8千円で、前年同期と比較すると33.5%と大きく増加した事が示されている。前々四半期には前年同期比9.9%下落していたものが、前四半期には18.1%の増加に転じ、更に今四半期は33.5%増という推移をたどっている。

表1-2-2-5 「電動アシスト車」の生産金額の動向

四半期	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月	2020年7～9月
生産金額(千円)	13,141,968	12,456,806	13,527,432	13,406,968
前年同四半期	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月
生産金額(千円)	11,778,855	13,824,976	11,456,966	10,041,356

表1-2-2-6 「電動アシスト車」の生産金額の前年同期比

四半期	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月	2020年7～9月
実数比(千円)	1,363,113	-1,368,170	2,070,466	3,365,612
前年同期比%	11.6	-9.9	18.1	33.5

1-2-3 「その他」の生産状況

「その他」の生産状況を以下に示す。まず2020年7～9月期の生産台数は、17,101台で対前年同期比7.8%と減少した。前年同期と比較した「その他」の生産台数は3四半期連続で減少している。

表1-2-3-1 「その他」の生産台数の動向

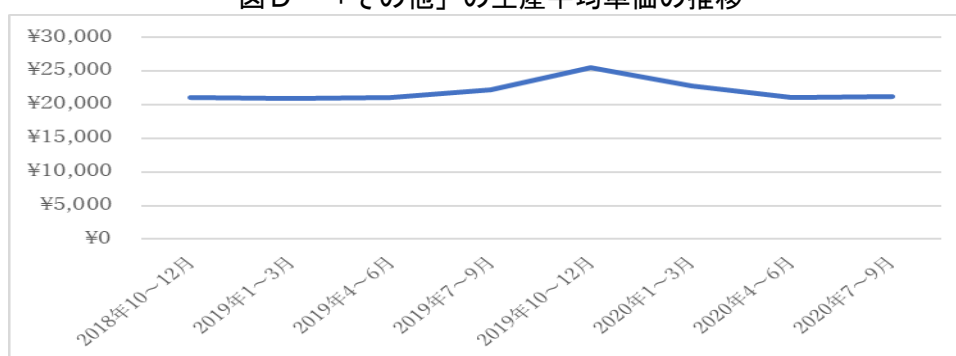
四半期	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月	2020年7～9月
生産台数(台)	21,414	16,048	18,102	17,101
前年同四半期	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月
生産台数(台)	18,991	19,167	23,669	18,548

表1-2-3-2 「その他」の生産台数の前年同期比

四半期	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月	2020年7～9月
実数比(台)	2,423	-3,119	-5,567	-1,447
前年同期比%	12.8	-16.3	-23.5	-7.8

続いて「その他」の生産平均単価を見る。対象としている2018年10～12月期から2020年7～9月期までの8四半期の生産平均単価の推移を図Dに示す。「軽快車」や「電動アシスト車」に比べ安定しているように見える。

図D 「その他」の生産平均単価の推移



次に「その他」の生産平均単価の動向の様態を過去4四半期にまでさかのぼり表1-2-3-3及び表1-2-3-4に示す。2020年7～9月期の「その他」の生産平均単価は21,188円となっており、前年同期と比較し4.8%下落した。前年同期と比較した生産平均単価について、3四半期前は大きく上昇していたが、その上昇の程度は次第に縮小し今四半期は下落に転じた。

表1-2-3-3 「その他」の生産平均単価の動向

四半期	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月	2020年7～9月
平均単価(円)	25,531	22,725	21,106	21,188
前年同四半期	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月
平均単価(円)	21,077	20,943	21,039	22,247

表1-2-3-4 「その他」の生産平均単価の前年同期比

四半期	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月	2020年7～9月
実数比(円)	4,455	1,782	66	-1,059
前年同期比%	21.1	8.5	0.3	-4.8

更に生産金額について見てみると、2020年7～9月期の「その他」の生産金額は3億6,233万3千円で、前年同期比12.2%減少した。3四半期前には前年同期比36.6%の増加を示していたが、前々四半期から減少に転じている。

表1-2-3-5 「その他」の生産金額の動向

四半期	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月	2020年7～9月
生産金額(千円)	546,726	364,693	382,059	362,333
前年同四半期	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月
生産金額(千円)	400,265	401,416	497,983	412,642

表1-2-3-6 「その他」の生産金額の前年同期比

四半期	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月	2020年7～9月
実数比(千円)	146,461	-36,723	-115,924	-50,309
前年同期比%	36.6	-9.1	-23.3	-12.2

2. 我が国の自転車輸入

2-1 総合的輸入状況

まず、「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を除く全ての車種の自転車の我が国への輸入台数について示す。2020年7～9月期の総輸入台数は、表2-1-1に示す通り1,424,070台であった。前年同期と比較すると、表2-1-2に示す通り3.5%増加した。前々四半期に前年同期比21.7%減少していたのを底にその後増加している。しかしこの1,424,070台という数値は、対象とする8四半期の中では三番目に少ない数値である。

表2-1-1 我が国自転車総輸入台数の動向

四半期	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月	2020年7～9月
総輸入台数(台)	1,392,616	1,440,671	1,843,084	1,424,070
前年同四半期	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月
総輸入台数(台)	1,426,781	1,840,057	1,631,661	1,375,387

出典：財務省貿易統計(2018年2019年数値は確定後数値) 加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
以下、輸入統計数値は全て同様。

表2-1-2 我が国自転車総輸入台数の前年同期比

四半期	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月	2020年7～9月
実数比(台)	-34,165	-399,386	211,423	48,683
前年同期比(%)	-2.4	-21.7	13.0	3.5

尚、参考までこの間のドル円為替レートを別表1に示しておく。

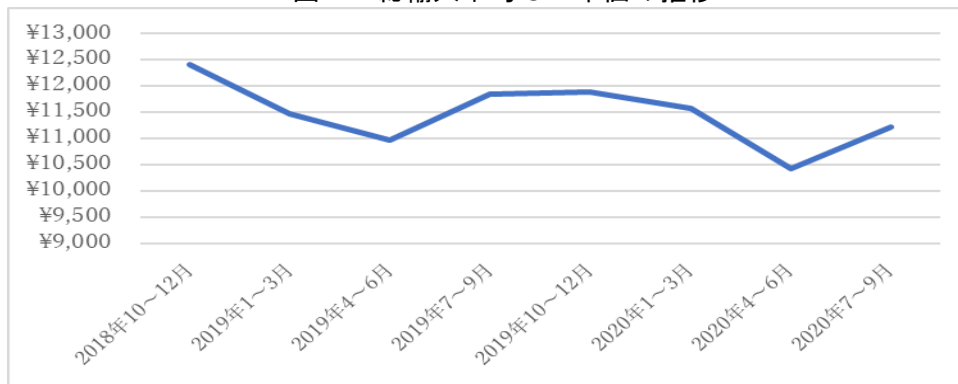
別表1 ドル円為替レート (税関長公示レート)

四半期別	1US\$=JPY
2018年10～12月	113.00
2019年1～3月	110.11
2019年4～6月	110.44
2019年7～9月	107.31
2019年10～12月	108.49
2020年1～3月	108.91
2020年4～6月	107.83
2020年7～9月	106.46

出典：公益財団法人日本関税協会 加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を除く全ての車種の自転車の輸入平均CIF単価を見る。対象としている2018年10～12月期から2020年7～9月期までの8四半期の総輸入平均CIF単価の推移を図Eに示す。この期間内では前四半期が底で、今四半期は前四半期に比べ上昇している。

図E 総輸入平均CIF単価の推移



続いて総輸入平均CIF単価の四半期毎の推移を見ると、2020年7～9月期の完成自転車輸入平均CIF単価は11,207円となっており、前年同期の11,849円から5.4%下落した。前年同期比の総輸入平均CIF単価は前々四半期にはわずかに上昇したものの、それ以外の3四半期は下落を示している。これらの模様を同じく過去4四半期にまでさかのぼり表2-1-3及び表2-1-4に示す。

表2-1-3 我が国自転車総輸入平均CIF単価の動向

四半期	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月	2020年7～9月
平均CIF単価(円)	11,880	11,562	10,425	11,207
前年同四半期	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月
平均CIF単価(円)	12,400	11,454	10,971	11,849

表2-1-4 我が国自転車総輸入平均CIF単価の前年同期比

四半期	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月	2020年7～9月
実数比(円)	-520	108	-546	-642
前年同期比%	-4.2	0.9	-5.0	-5.4

尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。以下同様。

更に総輸入金額について見てみると、2020年7～9月期の完成自転車総輸入CIF金額は159億5,936万3千円となり前年同期比2.1%減少した。この159億5,936万3千円という

数値は対象8四半期中で最低の数値である。これらの模様を過去4四半期にまでさかのぼり表2-1-5及び表2-1-6に示す。

表2-1-5 我が国自転車総輸入CIF金額の動向

四半期	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月
総輸入CIF金額(千円)	16,544,779	16,657,242	19,214,207	15,959,363
前年同四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
総輸入CIF金額(千円)	17,692,395	21,075,532	17,900,594	16,296,763

表2-1-6 我が国自転車総輸入CIF金額の前年同期比

四半期	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月
実数比(千円)	-1,147,616	-4,418,290	1,313,613	-337,400
前年同期比%	-6.5	-21.0	7.3	-2.1

2-2 車種別輸入状況

我が国の輸入における関税番号及び車種については次の別表2の通り分類されている。電動アシスト車は独立した輸入関税区分が立てられておらず、モーターサイクルの中に「駆動原動機として電動機を有するもの」が区分されており、電動アシスト車はこの中に含まれている。しかしこの区分には、電動オートバイも含まれているので注意が必要である。

別表2 輸入における車種区分 関税番号

関税番号/品名区分	車種
8712.00100 マウンテンバイク	・MTB(Vブレーキ・Diskブレーキ装着車を含む) ・クロスバイク
8712.00211 ミニサイクル	・ミニサイクル ・小径折りたたみ車 ・BMX
8712.00218 幼児車	・幼児車(12~16吋) ・乗用玩具(12吋二輪車) ・一輪車(12~16吋)
8712.00219 子供車	・子供車(18~24吋) ・Jr.MTB(18~24吋) ・一輪車(18~24吋)
8712.00291 軽快車	・軽快車(外装変速機付は含まない) ・シングル、内装変速機付スポーツ車
8712.00299 その他	・スポーツ車 ・外装変速機付軽快車 ・Jr.MTB(26吋)
8711.60000 駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル	・電動オートバイ、電動アシスト自転車がこの区分の中に含まれる

出典：一般財団法人自転車産業振興協会

以下に車種別輸入状況を示していくが、車種区分が比較的多いため、この中から「ミニサイクル」、底堅い需要のある「子供車」、重要と思われる「軽快車」及び「その他」、動向が注目される「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」に限って内訳をみてゆく。

2-2-1 「ミニサイクル」の輸入状況

「ミニサイクル」の輸入状況を表2-2-1-1及び表2-2-1-2に示す。2020年7～9月期には輸入台数が前年同期比で40.6%と、前四半期の23.9%増に続き大きく増加したことが示されている。表2-2-1-2を横に見るとわかる通り、前々四半期の小幅な減少を除き、全体として増加傾向にあることがわかる。

表2-2-1-1 「ミニサイクル」の輸入台数の動向

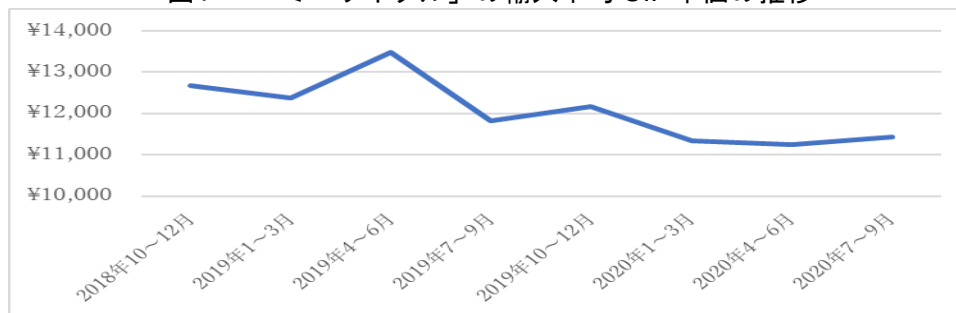
四半期	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月	2020年7～9月
輸入台数(台)	63,597	68,702	95,373	87,573
前年同四半期	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月
輸入台数(台)	56,563	70,550	76,990	62,279

表2-2-1-2 「ミニサイクル」の輸入台数の前年同期比

四半期	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月	2020年7～9月
実数比(台)	7,034	-1,848	18,383	25,294
前年同期比(%)	12.4	-2.6	23.9	40.6

次に「ミニサイクル」の自転車の輸入平均CIF単価を見る。対象としている2018年10～12月期から2020年7～9月期までの8四半期の輸入平均CIF単価の推移を図Fに示す。2019年4～6月期が突出していたが、翌2019年7～9月期に大きく下落し、その後も低迷している様子が見られる。

図F 「ミニサイクル」の輸入平均CIF単価の推移



続いて「ミニサイクル」の輸入平均CIF単価の四半期毎の推移を見ると、2020年7～9月期の輸入平均CIF単価は11,437円となっており、前年同期の11,831円から3.3%下落した。前年同期と比較した平均CIF単価は4四半期連続して下落している。これらの模様を同じく過去4四半期にまでさかのぼり表2-2-1-3及び表2-2-1-4に示す。

表2-2-1-3 「ミニサイクル」の輸入平均CIF単価の動向

四半期	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月	2020年7～9月
平均CIF単価(円)	12,176	11,335	11,237	11,437
前年同四半期	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月
平均CIF単価(円)	12,664	12,374	13,471	11,831

表2-2-1-4 「ミニサイクル」の輸入平均CIF単価の前年同期比

四半期	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月	2020年7～9月
実数比(円)	-488	-1,040	-2,234	-394
前年同期比%	-3.9	-8.4	-16.6	-3.3

更に輸入金額について見てみると、2020年7～9月期の「ミニサイクル」の輸入CIF金額は10億154万2千円となり前年同期比35.9%増加した。金額も台数の場合と同様、前年同期との比較では前々四半期に減少したほかは増加している。

表2-2-1-5 「ミニサイクル」の輸入CIF金額の動向

四半期	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月	2020年7～9月
輸入CIF金額(千円)	774,329	778,713	1,071,721	1,001,542
前年同四半期	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月
輸入CIF金額(千円)	716,308	872,998	1,037,158	736,818

表2-2-1-6 「ミニサイクル」の輸入CIF金額の前年同期比

四半期	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月	2020年7～9月
実数比(千円)	58,021	-94,285	34,563	264,724
前年同期比%	8.1	-10.8	3.3	35.9

2-2-2 「子供車」の輸入状況

「子供車」の輸入状況を以下に示す。2020年7～9月期には輸入台数は405,065台となった。前々四半期は一時的に前年同期比で大幅に減少したが、前四半期は前年同期比8.8%の増加、今四半期は同13.2%増となり、増加傾向に復している。

表2-2-2-1 「子供車」の輸入台数の動向

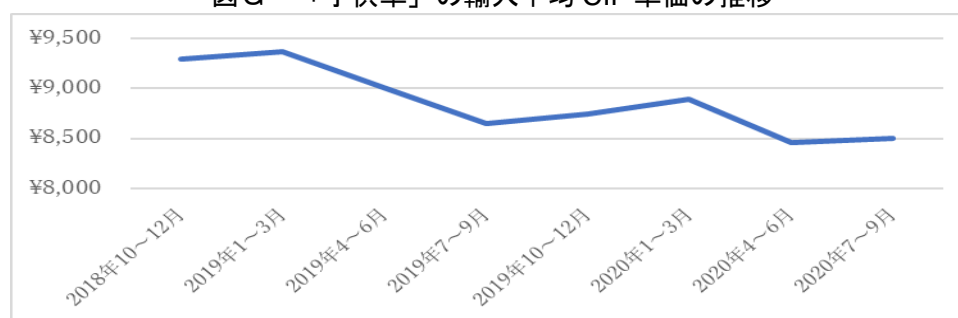
四半期	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月	2020年7～9月
輸入台数(台)	343,683	248,815	489,434	405,065
前年同四半期	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月
輸入台数(台)	317,216	359,298	449,883	357,722

表2-2-2-2 「子供車」の輸入台数の前年同期比

四半期	2019年10～12月	2020年1～3月	2020年4～6月	2020年7～9月
実数比(台)	26,467	-110,483	39,551	47,343
前年同期比(%)	8.3	-30.7	8.8	13.2

次に「子供車」の輸入平均CIF単価を見る。対象としている2018年10～12月期から2020年7～9月期までの8四半期の輸入平均CIF単価の推移を図Gに示す。全体的に緩やかな下落傾向にあるように見受けられる。

図G 「子供車」の輸入平均CIF単価の推移



続いて輸入平均CIF単価の四半期毎の推移を見ると、2020年7～9月期の「子供車」の輸入平均CIF単価は8,507円となっており、前年同期の8,651円から1.7%下落した。平均単価は前年同期比で下落が続いている事がわかる。

表 2-2-2-3 「子供車」の輸入平均 CIF 単価の動向

四半期	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月
平均 CIF 単価(円)	8,741	8,891	8,458	8,507
前年同四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
平均 CIF 単価(円)	9,294	9,370	9,004	8,651

表 2-2-2-4 「子供車」の輸入平均 CIF 単価の前年同期比

四半期	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月
実数比(円)	-554	-479	-546	-144
前年同期比%	-6.0	-5.1	-6.1	-1.7

更に輸入金額について見てみると、2020年7~9月期の「子供車」の輸入 CIF 金額は34億4,570万9千円となり前年同期比11.3%増加した。台数の場合と同様、金額も前々四半期には前年同期比で一時的に大きく減少したが、前四半期に増加に転じ今四半期は更にその増加幅が大きくなっている。

表 2-2-2-5 「子供車」の輸入 CIF 金額の動向

四半期	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月
輸入 CIF 金額(千円)	3,003,999	2,212,121	4,139,775	3,445,709
前年同四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
輸入 CIF 金額(千円)	2,948,363	3,366,519	4,050,847	3,094,514

表 2-2-2-6 「子供車」の輸入 CIF 金額の前年同期比

四半期	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月
実数比(千円)	55,636	-1,154,398	88,928	351,195
前年同期比%	1.9	-34.3	2.2	11.3

2-2-3 「軽快車」の輸入状況

「軽快車」の輸入状況を以下に示す。2020年7~9月期には、252,574台の「軽快車」が輸入された。この252,574台という数値は対象8四半期の中では最低で、2019年1~3月の4割強の水準である。また、前年同期と比較すると今四半期は25.6%と大きな減少が示され、更に4四半期連続で減少したこともわかる。

表 2-2-3-1 「軽快車」の輸入台数の動向

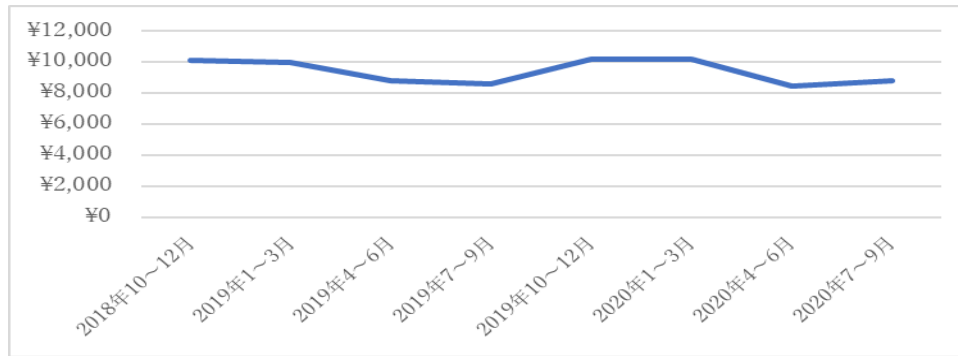
四半期	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月
輸入台数(台)	384,076	458,020	372,429	252,574
前年同四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
輸入台数(台)	439,812	573,283	373,720	339,589

表 2-2-3-2 「軽快車」の輸入台数の前年同期比

四半期	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月
実数比(台)	-55,736	-115,263	-1,291	-87,015
前年同期比(%)	-12.7	-20.1	-0.3	-25.6

次に「軽快車」の自転車の輸入平均 CIF 単価を見る。対象としている2018年10~12月期から2020年7~9月期までの8四半期の輸入平均 CIF 単価の推移を図Hに示す。生産の場合と同様、季節性が表れており、秋から冬にかけて比較的高価なものを輸入し、春から夏にかけては比較的安価なものを輸入するという特徴がわかる。但し、前述のとおり変化の度合いは生産の場合より小さい。

図H 「軽快車」の輸入平均CIF単価の推移



続いて輸入平均CIF単価の四半期毎の推移を見ると、2020年7~9月期の「軽快車」の輸入平均CIF単価は8,777円となっており、前年同期の8,566円から2.5%上昇した。対前年同期との比較では、その変化は比較的小さい状況が続いている。

表2-2-3-3 「軽快車」の輸入平均CIF単価の動向

四半期	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月
平均CIF単価(円)	10,165	10,149	8,444	8,777
前年同四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
平均CIF単価(円)	10,119	9,947	8,793	8,566

表2-2-3-4 「軽快車」の輸入平均CIF単価の前年同期比

四半期	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月
実数比(円)	46	202	-349	211
前年同期比%	0.4	2.0	-4.0	2.5

更に輸入金額について見てみると、2020年7~9月期の「軽快車」の輸入CIF金額は22億1,687万1千円であった。輸入台数の場合と同様、この22億1,687万1千円という数値は対象8四半期の中では最低で、2019年1~3月期の4割弱の水準である。また、前年同期と比較すると23.8%と大幅に減少し、更に4四半期連続で減少している事もわかる。

表2-2-3-5 「軽快車」の輸入CIF金額の動向

四半期	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月
輸入CIF金額(千円)	3,903,952	4,648,458	3,144,807	2,216,871
前年同四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
輸入CIF金額(千円)	4,450,461	5,702,659	3,286,185	2,909,085

表2-2-3-6 「軽快車」の輸入CIF金額の前年同期比

四半期	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月
実数比(千円)	-546,509	-1,054,201	-141,378	-692,214
前年同期比%	-12.3	-18.5	-4.3	-23.8

2-2-4 「その他」の輸入状況

スポーツ車や外装変速機付軽快車が含まれる「その他」の輸入状況を以下に示す。2020年7~9月期の輸入台数は478,504台であり、前年同期比0.8%減少した。前年同期と比較した輸入台数は増加と減少が交互に繰り返されている。

表 2-2-4-1 「その他」の輸入台数の動向

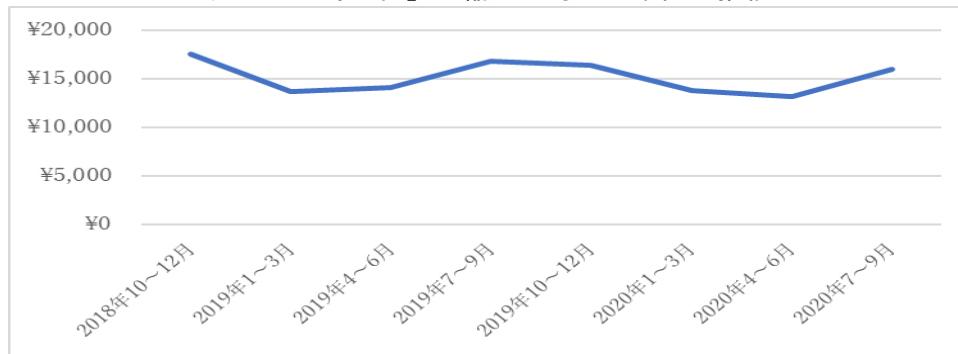
四半期	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月
輸入台数(台)	462,746	571,308	687,571	478,504
前年同四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
輸入台数(台)	450,740	710,604	562,632	482,381

表 2-2-4-2 「その他」の輸入台数の前年同期比

四半期	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月
実数比(台)	12,006	-139,296	124,939	-3,877
前年同期比(%)	2.7	-19.6	22.2	-0.8

次に「その他」の自転車の輸入平均CIF単価を見る。対象としている2018年10~12月期から2020年7~9月期までの8四半期の輸入平均CIF単価の推移を図Iに示す。「軽快車」の場合とは若干異なり、7~9月期と10~12月期が比較的高く、1~3月期と4~6月期が比較的低いように見受けられる。

図 I 「その他」の輸入平均CIF単価の推移



続いて輸入平均CIF単価の四半期毎の推移を見ると、2020年7~9月期の「その他」の輸入平均CIF単価は15,954円となっており、前年同期の16,831円から5.2%下落した。輸入平均CIF単価は、前々四半期には前年同期比でわずかに上昇したが、それ以外の四半期は前年同期比で5~6%の下落が継続的に示されている。

表 2-2-4-3 「その他」の輸入平均CIF単価の動向

四半期	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月
平均CIF単価(円)	16,399	13,779	13,159	15,954
前年同四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
平均CIF単価(円)	17,520	13,702	14,090	16,831

表 2-2-4-4 「その他」の輸入平均CIF単価の前年同期比

四半期	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月
実数比(円)	-1,121	77	-931	-877
前年同期比%	-6.4	0.6	-6.6	-5.2

更に輸入金額について見てみると、2020年7~9月期の「その他」の輸入CIF金額は76億3,391万8千円となり前年同期比6.0%減少した。前年同期と比較した輸入金額は前四半期に増加を示したほかは下落が示されている。

表 2-2-4-5 「その他」の輸入 CIF 金額の動向

四半期	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月
輸入 CIF 金額(千円)	7,588,415	7,872,311	9,047,994	7,633,918
前年同四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
輸入 CIF 金額(千円)	7,896,840	9,736,863	7,927,487	8,118,954

表 2-2-4-6 「その他」の輸入 CIF 金額の前年同期比

四半期	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月
実数比(千円)	-308,425	-1,864,552	1,120,507	-485,036
前年同期比%	-3.9	-19.1	14.1	-6.0

2-2-5 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入状況

最後に参考まで「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入状況を示す。2020年7~9月期には、輸入台数が前年同期比26.9%増加したことが示されている。前年同期比の輸入台数は、前々四半期の僅かな減少を除き大幅な増加が示されている。

表 2-2-5-1 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入台数の動向

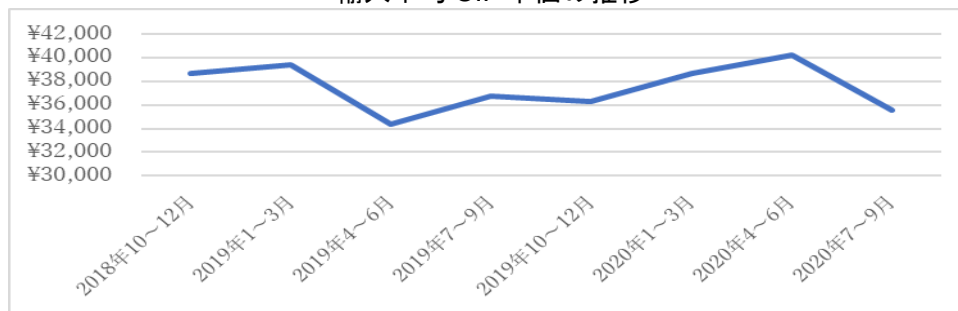
四半期	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月
輸入台数(台)	117,500	83,172	143,870	125,204
前年同四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
輸入台数(台)	87,312	83,382	84,074	98,639

表 2-2-5-2 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入台数の前年同期比

四半期	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月
実数比(台)	30,188	-210	59,796	26,565
前年同期比(%)	34.6	-0.3	71.1	26.9

次に「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入平均 CIF 単価を見る。対象としている2018年10~12月期から2020年7~9月期までの8四半期の輸入平均 CIF 単価の推移を図 J に示す。2019年4~6月期に大きく下落した後、回復傾向が示されていたところ今四半期は再び下落したことがわかる。

図 J 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入平均 CIF 単価の推移



続いて輸入平均 CIF 単価の四半期毎の推移を見ると、2020年7~9月期の「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入平均 CIF 単価は35,524円となっており、前年同期の36,743円から3.3%下落した。前年同期比の輸入平均 CIF 単価は前四半期に比較的大きく上昇したほかは、小幅な下落が示されている。

表 2-2-5-3 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の
輸入平均 CIF 単価の動向

四半期	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月
平均 CIF 単価(円)	36,280	38,648	40,177	35,524
前年同四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
平均 CIF 単価(円)	38,689	39,397	34,330	36,743

表 2-2-5-4 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の
輸入平均 CIF 単価の前年同期比

四半期	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月
実数比(円)	-2,408	-749	5,847	-1,219
前年同期比%	-6.2	-1.9	17.0	-3.3

更に輸入金額について見てみると、2020年7~9月期の「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入 CIF 金額は44億4,477万2千円となり、前年同期比22.7%増加した。前年同期と比較した輸入金額は台数の場合と同様、前々四半期の減少を除き大幅な増加が示されている。

表 2-2-5-5 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の
輸入 CIF 金額の動向

四半期	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月
輸入 CIF 金額(千円)	4,262,945	3,214,434	5,780,319	4,447,792
前年同四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
輸入 CIF 金額(千円)	3,377,980	3,284,995	2,886,270	3,624,289

表 2-2-5-6 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の
輸入 CIF 金額の前年同期比

四半期	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月
実数比(千円)	884,965	-70,561	2,894,049	823,503
前年同期比%	26.2	-2.1	100.3	22.7

3. 国内向け数量

我が国の完成自転車輸出はその殆ど全てが中古車の途上国向け輸出であるため、「生産台数」と「輸入台数」の合計が「国内向け数量」と考えられる。2020年7~9月の「国内向け数量」は1,617,802台となり、前年同期比4.1%増加した。前年同期と比較した「国内向け数量」は前四半期から増加に転じている。

表 3-1 「国内向け数量」の動向

四半期	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月
国内向け数量(台)	1,645,888	1,669,851	2,048,201	1,617,802
前年同四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
国内向け数量(台)	1,652,950	2,096,168	1,827,038	1,554,705

出典：経済産業省生産動態統計調査（2018年数値は確定後遡及修正反映数値 2019年数値は確定値）

財務省貿易統計(2018年2019年数値は確定後数値) 加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

(生産には「電動アシスト車」を含み、輸入には「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない)

表 3-2 も同様

表3-2 「国内向け数量」の前年同期比

四半期	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月
実数比(台)	-7,062	-426,317	221,163	63,097
前年同期比(%)	-0.4	-20.3	12.1	4.1

4. 我が国の自転車輸出

我が国の自転車輸出は途上国向けの中古自転車が殆どである。

2020年7~9月期の総輸出台数は840,363台となり前年同期から19.2%増加した。これらの模様を過去4四半期にまでさかのぼり表4-1及び表4-2に示す。

表4-1 我が国自転車総輸出台数の動向

四半期	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月
総輸出台数(台)	866,289	703,025	675,433	840,363
前年同四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
総輸出台数(台)	834,374	729,774	808,971	704,895

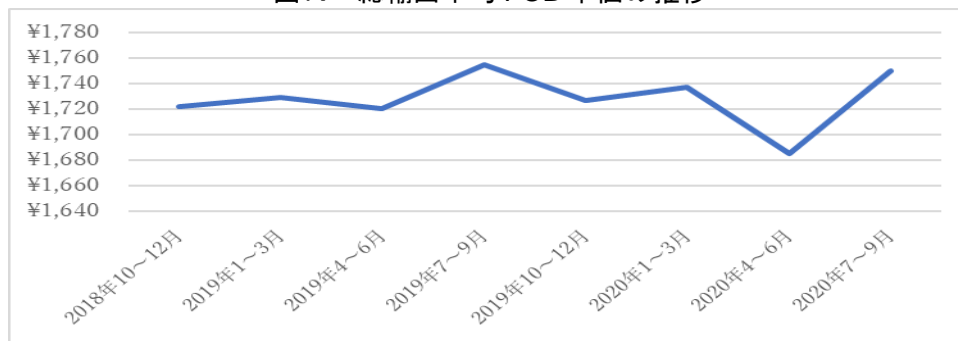
出典：財務省貿易統計(2018年2019年数値は確定後数値)、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
以下、輸出統計数値は全て同様。

表4-2 我が国自転車総輸出台数の前年同期比

四半期	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月
実数比(台)	31,915	-26,749	-133,538	135,468
前年同期比(%)	3.8	-3.7	-16.5	19.2

次に全ての車種の輸出平均FOB単価を見る。対象としている2018年10~12月期から2020年7~9月期までの8四半期の総輸出平均FOB単価の推移を図Kに示す。前四半期に下落した後、今四半期は旧に復している。

図K 総輸出平均FOB単価の推移



続いて輸出平均FOB単価を見ると、2020年7~9月期の完成自転車総輸出平均FOB単価は1,750円となっており、前年同期の1,755円から0.3%下落した。これらの模様を同じく過去4四半期にまでさかのぼり表4-3及び表4-4に示す。前年同期と比較した四半期毎総輸出平均FOB単価の変化は大きくはない。また、平均FOB単価を見ればこれらの自転車輸出は中古自転車輸出である事は明らかである。

表 4-3 我が国自転車総輸出平均 FOB 単価の動向

四半期	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月
平均 FOB 単価(円)	1,727	1,737	1,685	1,750
前年同四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
平均 FOB 単価(円)	1,722	1,729	1,720	1,755

表 4-4 我が国自転車総輸出平均 FOB 単価の前年同期比

四半期	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月
実数比(円)	6	8	-36	-5
前年同期比%	0.3	0.5	-2.1	-0.3

尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

更に総輸出金額について見てみると、2020年7~9月期の完成自転車総輸出 FOB 金額は14億7,071万9千円となり前年同期比18.9%増加した。これらの模様をやはり過去4四半期にまでさかのぼり表4-5及び表4-6に示す。前年同期比の総輸出金額は前四半期には比較的大きく減少したが今四半期は同程度の割合で増加に転じた。

4-5 我が国自転車総輸出 FOB 金額の動向

四半期	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月
総輸出 FOB 金額(千円)	1,496,455	1,221,476	1,137,891	1,470,719
前年同四半期	2018年10~12月	2019年1~3月	2019年4~6月	2019年7~9月
総輸出 FOB 金額(千円)	1,436,424	1,262,032	1,391,595	1,236,890

表 4-6 我が国自転車総輸出 FOB 金額の前年同期比

四半期	2019年10~12月	2020年1~3月	2020年4~6月	2020年7~9月
実数比(千円)	60,031	-40,556	-253,704	233,829
前年同期比%	4.2	-3.2	-18.2	18.9

尚、輸出に関する分析では「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」は対象から除外している。

以 上